



平成 23 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 北越紀州製紙株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 岸本 哲夫  
(コード：3865 東証 1 部)  
問合せ先 経営管理部長 堀川 淳一  
(TEL. 03-3245-4500)

平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績との差異及び  
通期連結業績予想の修正並びに特別利益（負ののれん発生益）の計上に関するお知らせ

平成 23 年 8 月 10 日に公表いたしました平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の当該連結累計期間の実績に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

また、同日付にて公表いたしました平成 24 年 3 月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

また、平成 24 年 3 月期第 2 四半期において丸大紙業株式会社が当社の連結子会社となったことによる特別利益（負ののれん発生益）を計上いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異  
(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成 23 年 8 月 10 日発表)	百万円 114,500	百万円 5,000	百万円 6,500	百万円 6,500	円 銭 31.86
第 2 四 半 期 累 計 実 績 (B)	115,857	4,749	6,482	9,062	44.37
増 減 額 (B - A)	1,357	△250	△17	2,562	
増 減 率 ( % )	1.2	△5.0	△0.3	39.4	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	109,775	4,336	5,298	2,982	14.29

## 2. 平成 24 年 3 月期連結業績予想の修正

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成 23 年 8 月 10 日発表)	百万円 230,000	百万円 10,500	百万円 13,000	百万円 10,000	円 銭 49.02
今回修正予想 (B)	233,000	13,000	15,500	13,000	63.72
増 減 額 (B-A)	3,000	2,500	2,500	3,000	
増 減 率 ( % )	1.3	23.8	19.2	30.0	
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	217,013	8,743	10,282	5,431	26.21

## 3. 差異及び修正の理由

平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績は、売上高は計画を上回ったものの、台風 12 号による当社紀州工場の操業一時停止の影響等もあり、営業利益、経常利益は前回予想を若干下回りました。四半期純利益は、平成 24 年 3 月期第 1 四半期において特別損失に計上した投資有価証券評価損 2,220 百万円のうち、平成 24 年 3 月期第 2 四半期において 987 百万円を戻入れたことや、下記「4. 特別利益 (負ののれん発生益) の計上」に記載の通り、特別利益 (負ののれん発生益) 1,535 百万円を計上したこと等により、前回予想を大きく上回りました。

また、平成 24 年 3 月期通期の連結業績予想は、第 2 四半期連結累計期間の業績結果および下期の事業動向の見通しを踏まえた結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。下期の洋紙・白板紙の需要動向や原燃料価格の高騰など先行きは不透明ではありますが、効率向上等のコストダウンの継続や公表しております製品価格の改定に取り組んでまいります。

## 4. 特別利益 (負ののれん発生益) の計上

平成 23 年 7 月 4 日に公表した「子会社の異動に関するお知らせ」に記載の通り、当社の関連会社であった丸大紙業株式会社は、7 月 4 日付けで同社による自己株式の取得により、特定子会社かつ完全子会社に該当することとなりました。

これに伴う会計処理といたしまして、平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において 1,535 百万円の特別利益 (負ののれん発生益) を計上いたしました。

(注) 上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想値と大きく異なる可能性があります。

以 上